



改めて気付いたこと

副校長 川口 典子

先週は3日間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学校臨時休業となりました。それ以前にも学級閉鎖や学年閉鎖をしなければならない状況がありました。そこで、全生徒に配られている学習用端末を使い、毎日の健康観察や連絡、授業の支援等を行いました。学年、学級によっては昼食の時間もMeetでつないでいました。その様子を見に行ったところ、ある先生がクラスの皆とお昼を食べながら「お昼ご飯をおしゃべりしながら食べるの初めてだなあ」と話しかけていたのを聞いてハッとしました。確かに1年生と2年生は桐ヶ丘中に入学して一度もおしゃべりしながら給食を食べたことがありません。3年生についても、恐らく人生で最後になる生徒が多いであろう“給食の時間”を、中学校生活のほとんどを黙食で過ごしてしまいます。本来、班になり、クラスの仲間と楽しくおしゃべりしながら食べる給食。教科担任制である中学校では、担任によっては一日のうちで最もクラスの生徒と自由に会話ができる時間かもしれない給食。そんな会話がより美味しく、楽しくさせるかもしれない。どうか早く楽しい給食の風景が戻りますように、と思いました。そして同時に、家庭での食事はお家の人と会話をしながらご飯が食べられているかな、と思いました。食事をしながらのコミュニケーションは、一段と美味しく感じ、絆が深まります。何より会話を楽しみながらゆっくり食べることで、心も体も元気になるそうです。学校の給食ではなかなかその機会とできないのが現状です。ご家庭でその分も補えるよう、ご協力をよろしく願いいたします。

どうか一日でも早く「おしゃべりばかりしないで、早く食べて!」と言えるような日々に戻りますように、心から祈ります。

話は変わりますが、今年度も、本校の教育活動につきまして学校内の評価だけでなく、外部評価もしていただくということで、保護者の方々、学校評議員の方々に学校評価をお願いしました。その結果と今後の取組について裏面にまとめさせていただきましたので、ご一読いただければと存じます。ご協力いただいた皆様には、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

令和4年2月の主な行事

1日(火)～2日(水)	北区教育研究会 5時間授業
4日(金)	避難訓練
5日(土)	土曜授業 ※公開はなし
16日(水)	2年ネットルール教室
21日(月)	3年都立入試(一次・分割前期)
24日(木)～25日(金)	二学期期末考査

※昨今の状況により、変更・延期・中止となることがあります。

※2月5日(土)に予定されていましたが学校公開はまん延防止等重点措置の適用期間に伴い、中止とします。また、2年生で予定されていた防災学校も中止としますのでご理解ください。

2年生 EC岩井学園

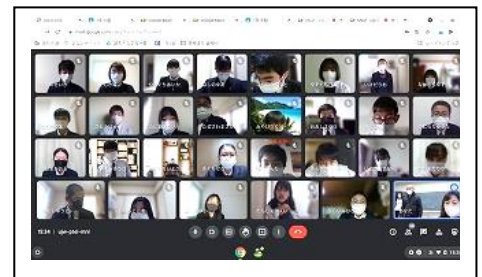
冬休みが明けた1月13日（木）から、イングリッシュキャンプに行きました。当日、体育館での出発式を行い、外国人留学生の方々が紹介されて一緒に出発しました。岩井学園に着いてからは、様々なプログラムを行いました。留学生と一緒にゲームや日本の遊びをしたり、英語で自己紹介をしたり、留学生から出身地域の紹介を聞いたりしました。

1泊2日のEC岩井学園でしたが、たくさん英語に触れることができました。また、2年生にとって、中学校に入学して初めての宿泊行事だった今回、日頃の学校生活では経験できないことも経験することができました。様々なことを制限したり気を付けたりしながらの宿泊となりましたが、2年生はとても立派な態度でした。



オンラインでつながりました

新型コロナウイルス感染症の影響で、学級閉鎖や学年閉鎖、学校臨時休業が続きました。特に学校臨時休業中は各学年、オンラインを利用して健康観察や諸連絡、授業などを行いました。オンラインでの授業は試行錯誤の途中で、十分な配信はできていませんが、臨時休業中も生徒の皆さんの様子を知ることができたり、双方向の交流できたことはよかったです。



PC越しでも会えたのが嬉しくて、思わず手を振っちゃう♪



PC 4台を並べて同時に授業。4台のPCから見られるようにするのは難しいですね。高さ合わせのために使っているのは何でしょう？



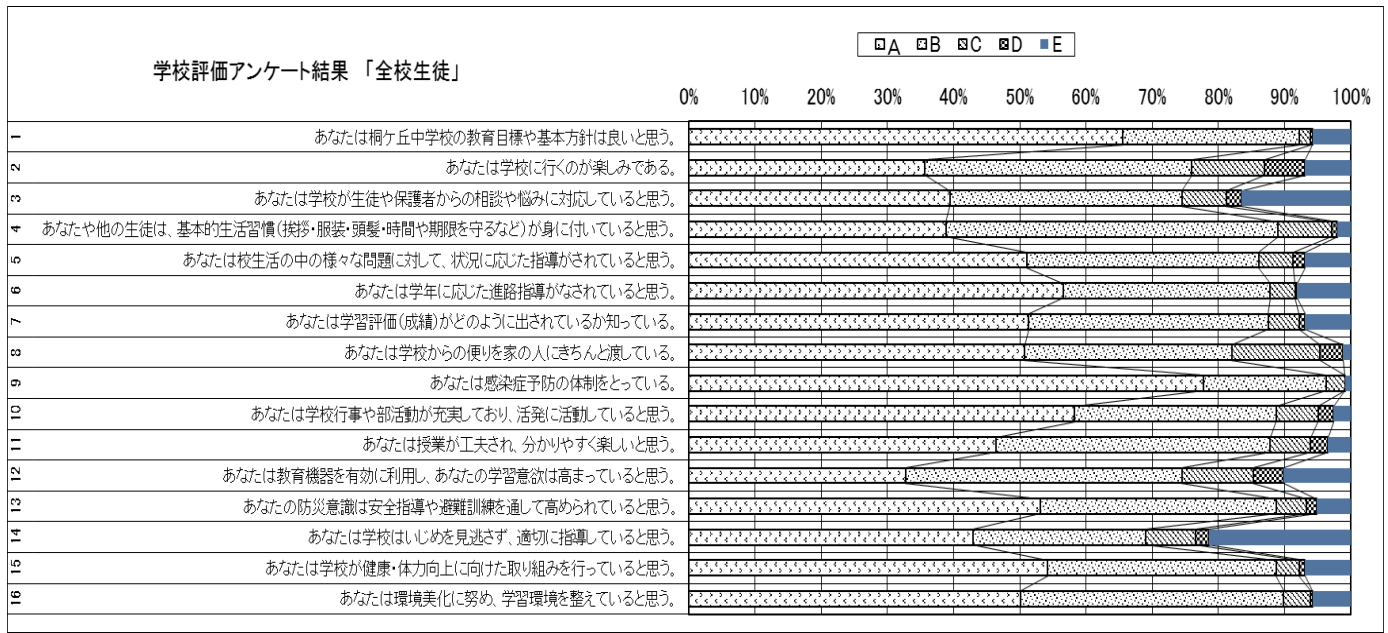
オンラインで「いただきます！」

昼食の時間もオンラインをつないだクラスがありました。先生方も空いている教室や廊下、交流スペース、中庭等でPCを正面に置いて「いただきます」。お昼ご飯は何？など質問をしながら会話がはずんでいました。あるクラスは担任の先生がクイズを出したりして、笑い声が聞こえていました。また、3年生のある生徒は、昼食を自分で作る様子を配信。カメラをフライパンに向けてクッキングしていました。笑顔のあふれるランチタイム。臨時休業になってしまったのは残念ですが、その中でも楽しいひとときとなりました。

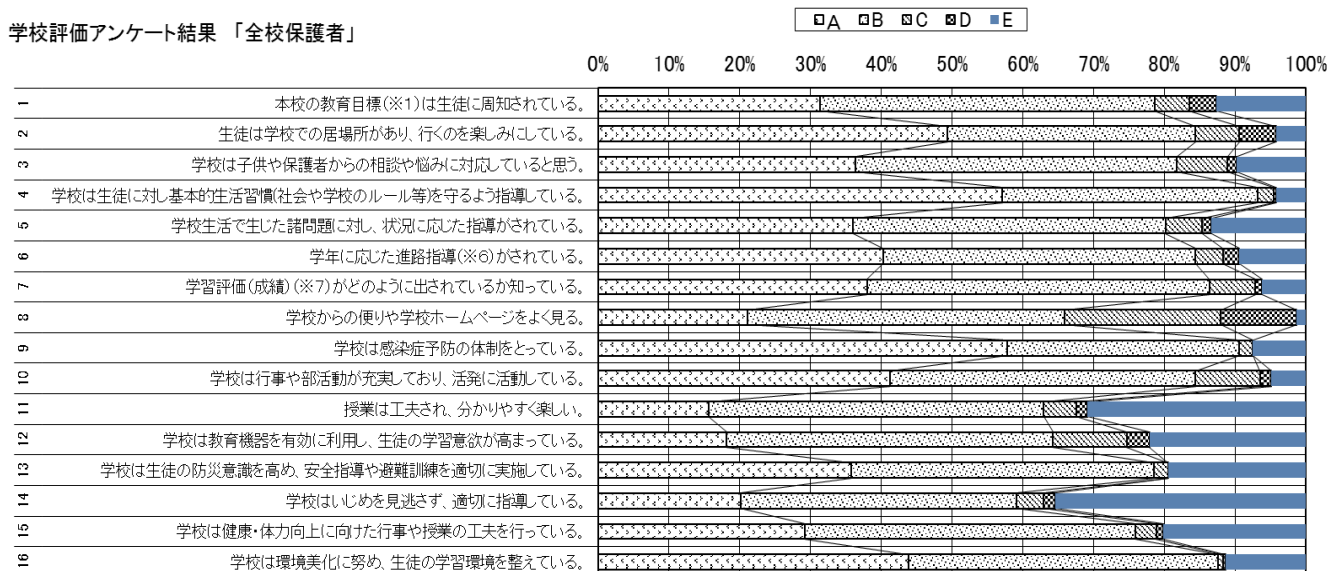


学校評価アンケートの結果 ~ご協力ありがとうございました~

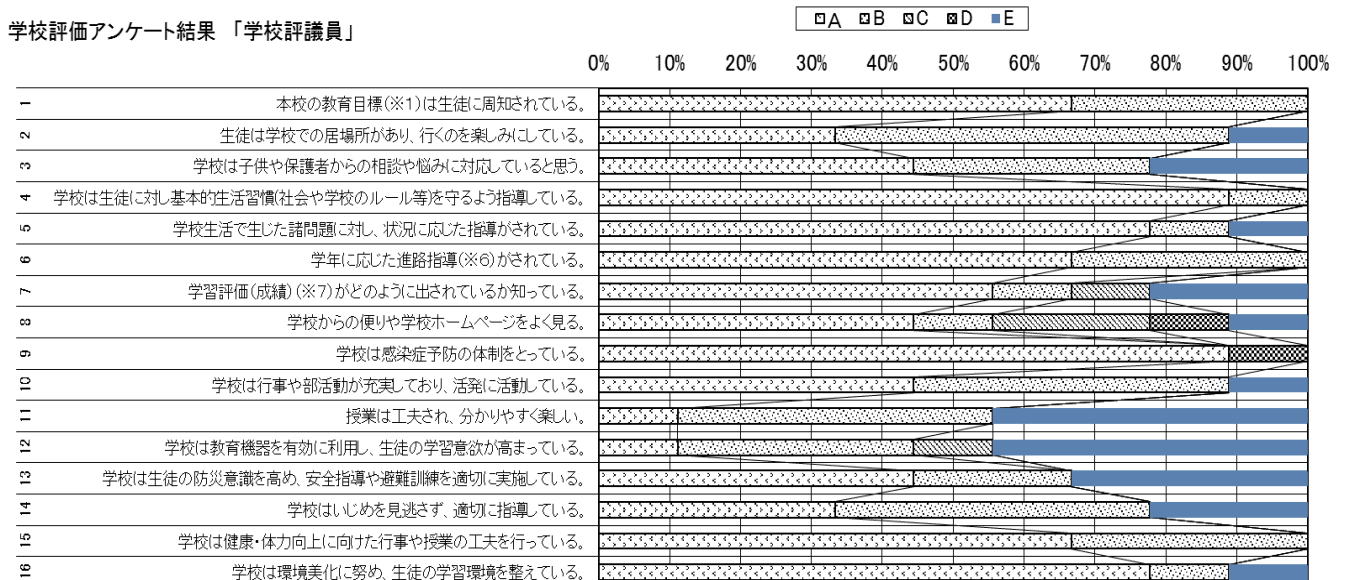
令和3年度学校評価アンケートをまとめましたので報告させていただきます。



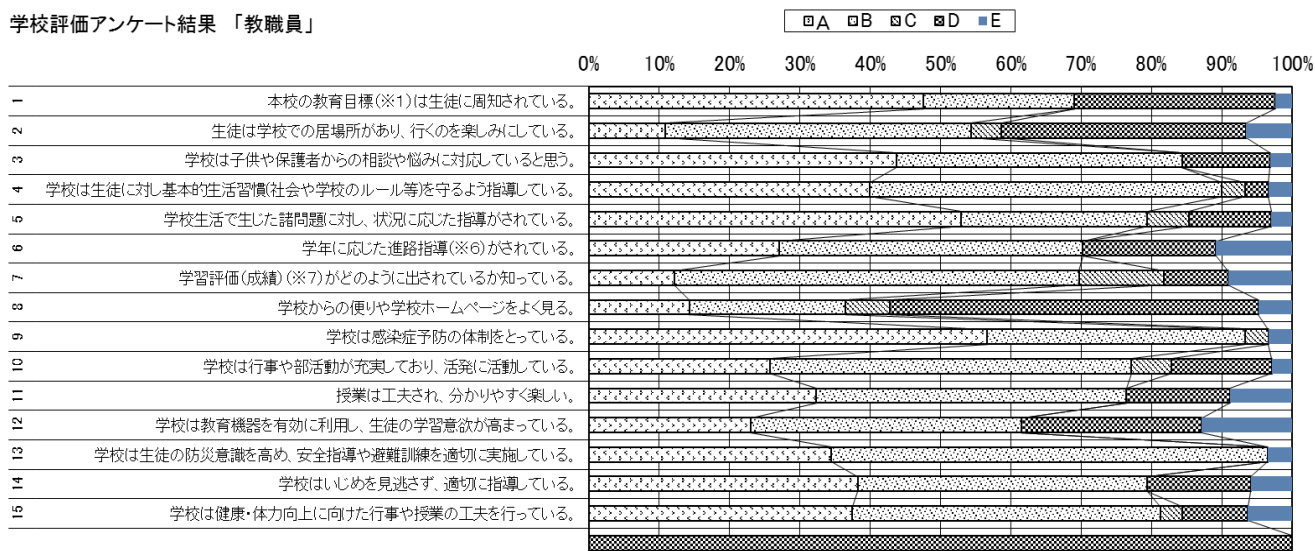
学校評価アンケート結果 「全校保護者」



学校評価アンケート結果 「学校評議員」



学校評価アンケート結果 「教職員」



○設問2について

生徒の約76%、保護者の約84%が肯定的回答となりました。この割合はここ数年、高い割合となっておりますが、例年、保護者や教職員のそれに比べると生徒は低い割合を示しています。また、17%の生徒が否定的回答を示していることを真摯に受け止め、その背景を探っていきます。少しでもその割合を減らせるよう、日々の学校生活の充実に努めます。

○設問3について

生徒の約74%、保護者の約82%が肯定的回答となりました。しかし、生徒の約17%が「分からない」と回答しています。この回答の中には現時点でなくても、相談や悩みができたときにそれをどのように解消したらよいか分からないという生徒がいると推測されます。今後も学校の中で信頼関係を築き、教育相談の仕組みの構築と周知に努め、生徒や保護者、個々の相談に適切に対応できるよう、学校全体で改善して参ります。

○設問5について

全ての対象について、80%以上が肯定的回答で、状況に応じた生活指導が概ねなされていると考えます。しかしながら、「状況に応じた指導」は生活指導上の大前提であり、基本であるにとらえ、学校生活で起こるあらゆる諸問題に対し正対し、生徒の思いに寄り添いながらも毅然とした態度で指導を行って参ります。

○設問8について

今年度も「便りを保護者に渡している」という回答が、9割を下回りました。今年度より、印刷物での配布に加え、まなびポケットでの情報発信も行いました。その運用についてはまだ試行錯誤の部分がありますが、まだ周知の面で不十分であるのが現状です。今後も、それらの改善に努め、保護者に伝わりやすい情報発信の方法を考え、より一層の改善に努めて参ります。

○設問11について

生徒は肯定的回答が88%となりました。しかし、保護者は63%にとどまり、「わからない」という回答が31%となりました。学校評議員の解答も“分からない”という回答が44%となっております。日頃の授業の様子や生徒の実態について、保護者や地域の方々にお伝えするために、状況に応じた公開方法の工夫や広報の工夫を行ってまいります。

○設問14について

生徒の約69%、保護者の59%が肯定的回答でしたが、保護者の約35%が“わからない”という回答になりました。いじめを見逃さないための取組や未然防止の取組についても保護者や地域の方に伝えるとともに、生徒の心に寄り添う支援・指導を学校と家庭で連携して取り組んで参りたいと考えます。

○結果のまとめ

肯定的回答が多かった項目については、今後も引き続き良好な状態が保てるように、否定的回答が多かった項目については、校内各部において対策等を検討し、改善すべき点や継続すべき点等を検証し、常に精査しつつ今後の学校運営に活かしてまいります。また校外に対しましてもこれらの結果を公開し、広くご意見等を収集し、より良い学校づくりに活かしてまいります。

子供の教育・育成は、学校、家庭、地域社会が連携、協力して行うものでありますので、三者が各々の役割を把握し、果たすということが重要であると認識しております。今後ともご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。アンケートにご協力いただきありがとうございました。